

報道提供資料

令和3年12月9日

●この資料の取扱いについては、次のとおりお願いします。		お問い合わせ先	
ラジオ・テレビ・インターネット	解禁日 令和3年12月17日（金） 17時メド （文化審議会終了後）	藤井寺市教育委員会事務局 教育部 文化財保護課 電話 072-939-1111（代） （内線6811、6812） 直通 072-939-1419 担当 尾花・新開	羽曳野市教育委員会事務局 世界遺産・文化財総合管理室 文化財課 電話 072-958-1111（代） （内線4480） 直通 072-947-3903 担当 吉澤・伊藤
紙面	解禁日 令和3年12月18日（土） 朝刊から		

表 題	国指定史跡 古市古墳群の追加指定について
内 容	<p>国の文化審議会は、12月17日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、羽曳野市・藤井寺市内の史跡の追加指定2件について、文部科学大臣に答申する予定です。</p> <p>■追加指定</p> <p>○古市古墳群</p> <p>藤井寺市</p> <ul style="list-style-type: none">鍋塚古墳（なべづかこふん） <p>羽曳野市</p> <ul style="list-style-type: none">白鳥陵古墳周堤（はくちょうりょうこふんしゅうてい） <p>古市古墳群は、4世紀後半から6世紀中頃にかけて形成された、応神天皇陵古墳を頂点とする国内を代表する古墳群で、これまで22基（藤井寺市20基、羽曳野市4基、※2基は両市）が史跡に指定されています。</p> <p>今回、鍋塚古墳と白鳥陵古墳周堤において、条件の整った部分が追加指定されます。</p> <p>※詳細については添付資料をご覧ください。</p> <p>また、写真データが必要な場合は、上記、問い合わせ先までご連絡ください。</p>

国指定史跡の追加指定について

追加指定される史跡

●古市古墳群（ふるいちこふんぐん）

古室山古墳 赤面山古墳 大鳥塚古墳 助太山古墳 鍋塚古墳（なべづかこふん） 城山古墳 峯ヶ塚古墳 墓山古墳 野中古墳 応神天皇陵古墳外濠外堤 鉢塚古墳 はざみ山古墳 青山古墳 蕃所山古墳 稻荷塚古墳 東山古墳 割塚古墳 唐櫃山古墳 松川塚古墳 浄元寺山古墳 白鳥陵古墳周堤（はくちょうりょうこふんしゅうてい） 仲姫命陵古墳周堤

○所在地

羽曳野市・藤井寺市

※追加指定対象の所在地

鍋塚古墳

藤井寺市沢田4丁目

白鳥陵古墳周堤

羽曳野市軽里3丁目

○概要

古市古墳群は、大阪府南東部、藤井寺市から羽曳野市に位置し、4世紀後半から6世紀中葉に形成された、巨大な前方後円墳を含む古墳群です。本来は約130基を超える古墳によって構成されていましたが、現在、墳丘が残存する古墳は45基となっており、これまで22基の古墳が史跡指定されていました。

今回、鍋塚古墳及び白鳥陵古墳周堤において、条件の整った部分が追加指定されます。

鍋塚古墳（なべづかこふん）

鍋塚古墳は、古市古墳群の北東部、国府台地上に位置する方墳です。同古墳は、南西に接する仲姫命陵古墳の陪冢と考えられ、仲姫命陵古墳の周堤に接するように位置しています。墳丘は二段築成で、一辺約63mを測ります。これは、古市古墳群内の方墳としては、向墓山古墳、浄元寺山古墳に次ぐ、3番目の大きさになります。出土した埴輪などから、古墳時代中期の築造と考えられています。

墳丘1段目斜面には葺石が施され、墳丘の周囲に濠のめぐっていることが発掘調査の成果で明らかとなっています。

同古墳は、主墳である仲姫命陵古墳の陪冢として、巨大古墳と陪冢の関係を視覚的に示す典型例であり、古市古墳群の形成や王権構造などを考える上で重要な古墳です。

白鳥陵古墳周堤（はくちょうりょうこふんしゅうてい）

白鳥陵古墳は、羽曳野市のほぼ中央、羽曳野市軽里3丁目に所在する古墳時代中期の大型前方後円墳です。現在、宮内庁によって墳丘及び周濠までが『日本武尊白鳥陵（やまとたけるのみこと しらとりのみささぎ）』に治定され、管理されています。

墳丘は三段築成でくびれ部北側の前方部寄りに造り出しを設けており、墳丘規模は墳丘長 200mを測ります。後円部直径 106m、前方部幅 165mを測り、前方部の幅が後円部の直径を上回ること、高さは前方部が3m高いことなどの特徴を有しています。また、周堤の外側には小規模な区画溝がめぐっていることが、発掘調査により明らかにされています。こうした墳形の特徴や、出土した円筒埴輪や須恵器の特徴から、白鳥陵古墳は5世紀後半に築造されたと考えられています。

なお、日本書紀などによると「日本武尊（やまとたけるのみこと）は遠征の帰り道、伊勢の能褒野（のぼの）で亡くなり白鳥となって大和琴弾原（ことひきはら）を經由して古市に飛来し、また埴生野の空を向かって羽を曳くように飛び去った」と伝えられる白鳥伝説があり、羽曳野市の名称の由来を語る古墳でもあります。



写真 鍋塚古墳（提供：藤井寺市教育委員会）



写真 白鳥陵古墳周堤（提供：羽曳野市教育委員会）